

みやぎ復興プレス

「みやぎ復興プレス」では、東日本大震災により被災された方をはじめとした復興に関わる多くの方々に、宮城の復興状況やイベント、被災者支援など、復興に関する主な情報をお届けします。メールマガジンやWebサイトとも連動し、多くの皆さまのお手元に情報をお届けしますので、よろしくお願いいたします。

目次

- p1 トピックス：みやぎ移住サポートセンター・みやぎ移住ガイドについて
- p2 みやぎ“復興人”：一般社団法人フィッシャーマン・ジャパン、応援職員紹介
- p3 月刊ココロプレス
- p4 県からのお知らせ、復興イベント情報



メールマガジンによる配信も行っています！ 配信を希望される方は、1お名前、2お住まいの都道府県、3ご所属（個人の方の場合は不要）をメール本文に記載して fukusuim@pref.miyagi.jp まで送信願います！

トピックス

「ちょうどいい、宮城県。」への移住・定住を推進しています！
～みやぎ移住サポートセンター・みやぎ移住ガイドのご紹介～

あなたの

ちょうどいい

が宮城県にあります。

宮城県は、都会過ぎず、田舎過ぎない、自然豊かな場所。暮らし、子育て、遊び、仕事、全てに「ちょうどよさ」を感じながら住める場所です。



みやぎ移住サポートセンターについて

県では、「しごと」と「ひと」の好循環を作り、県内への新しい「ひと」の流れをつくる「地方創生」の取組として、首都圏等にお住まいの方々に向けて宮城県の魅力を発信し、興味・関心を持っていただくことで、宮城県への移住・定住を推進するための取組を今年度より本格的に開始しました。

宮城の復興に関わりたい、自然豊かな宮城で仕事がしたい、宮城から東京の大学にきているが地元で就職したいといった方々の相談窓口として、東京都内・仙台市内の2箇所にみやぎ移住サポートセンターを平成27年7月21日に開設しました。同センターには、移住実現へのサポートを行う経験豊富なUIJターンコンシェルジュが常駐し、仕事や暮らしに関する情報を一元的に収集・提供しています。宮城県での暮らしに興味のある方は、いつでもお気軽にご相談下さい。

専用サイト「みやぎ移住ガイド」について

「みやぎ移住ガイド」は、宮城県への移住を検討している方と宮城とをつなぐ場を作りたいという思いから誕生しました。

宮城県には、東日本大震災の際、ボランティアとして支援活動に従事し、そのまま地域に残り、まちの復興・発展に貢献されている方々がたくさんいらっしゃいます。みやぎ移住ガイドではそんな方々の声の発信や、各市町村の支援策・求人情報など、日々内容の充実を図っています。是非一度ご覧ください。

予約をしなくても
大丈夫です！

お気軽にご相談ください。

<相談までの流れ>

- ① ウェブページで情報収集
- ② メールや電話で予約(info@miyagi-ijuguide.jp)
- ③ 窓口へ。手ぶらで大丈夫！



<東京サポートセンター>

☎ 03-6734-1344

東京都千代田区大手町 2-6-4



<仙台サポートセンター>

☎ 022-216-5001

宮城県仙台市青葉区中央 1-2-3
仙台マークワン 18F



URL: <https://miyagi-ijuguide.jp/>



今月号の復興人は、三陸沿岸を中心に新たな水産業の形づくりに挑戦している「一般社団法人 フィッシャーマン・ジャパン」の鈴木真悟さんにお話を伺いました。

●団体について教えてください。

震災後に三陸沿岸の若手漁師が集結して、水産業の3K「きつい・きたない・きけん」のイメージを払拭し、新たに3K「カッコいい・稼げる・革新的」の目標を掲げて、子供達が憧れる職業にしようと活動しています。

それぞれのメンバーが持っていた販路やノウハウを共有しながら、商品の開発・販売、担い手育成のための取り組みを行っています。本来ライバル同士である漁業者が協力し、一緒になって取り組むことは、日本でもほとんど例がありません。

●現在進めている「TRITON PROJECT(トリトンプロジェクト)」について教えてください。

地元にある空き家を活用してシェアハウスをつくり、地域外からの担い手を受け入れています。

漁業の担い手不足は深刻で、漁業就業者は20年前(平成5年、約32万人)と比較して約半数(平成25年、約18万人)まで減少しています。

震災後は、ボランティア活動を通じて漁業に興味を持たれた方が増えましたが、今の仕事を辞めなければならないという不安や住居の問題、受け入れ先等についてどこに相談すればよいかよく分からないなど、一般の



写真提供：Funny!!平井慶祐

方が就業するにはとても難しい状況でした。

そこで、シェアハウスで生活しながら漁業に携われるように、長期休暇等を利用した短期間の漁業体験やイベントを開催し、気軽に水産業に関わり、興味を持っていただけるような仕組みを取り入れました。

将来的には、漁業者としてこの地域に定住していただくことが目標ですが、漁業は季節によって仕事量が変わるので、繁忙期毎に拠点を移動し、マルチに活躍できる人材を育てたいと思っています。

●今後の抱負をお聞かせください。

プロジェクトはまだ始まったばかりで、成果が見えるのはまだ先ですが、今後、この取り組みを全国に広げ、2024年までに漁業者を1000人増やすことを目標にしています。

そして、その中から一人でも多くの方がこの地域に定住し、漁業の担い手となって欲しいと思っています。



☎一般社団法人 フィッシャーマン・ジャパン
事務所所在地：宮城県石巻市大街道西1-7-20
☎0225-98-7071 URL：<http://fishermanjapan.com/>

全国の皆さま ご支援ありがとうございます！

応援職員紹介コーナー Vol.35



氏名 米津 育浩(ヨネツ ユズヒロ)
派遣元 福井県
所属 仙台地方振興事務所
農業農村整備部

北陸地方の西の端の福井県から来ました。宮城県では亘理町の農地復旧工事をお手伝いしています。東北地方に来るのは初めてで気候の違いに驚くこともありましたが、宮城の皆さんに助けていただいて元気に現場を走り回っています。復興した農地でとれたお米や野菜を食べることを目標にちかっぺ頑張ります！



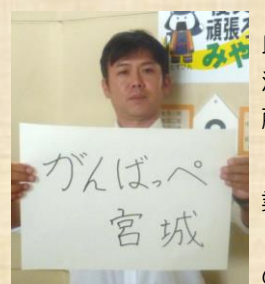
氏名 西川 泰貴(ニシカワ タイキ)
派遣元 三重県
所属 仙台地方振興事務所
農業農村整備部

伊勢神宮で有名ですが、それだけじゃない！「美味しい・楽しい・面白い」が三つ重なった三重県より、今年度から派遣されました。農地海岸の復旧事業を担当しています。休日は、宮城県内のご当地グルメを求めて伊達な一人旅を楽しんでいます。人と人とのつながりを大切にし、宮城と三重との架け橋になれるよう、復興に向けて頑張っていきます！



氏名 香川 智志(カガワ サトシ)
派遣元 香川県
所属 仙台土木事務所

4月よりうどん県(香川県)から来ました。公共事業の用地取得業務を担当しています。赴任当初、「うまいうどん屋がない。どうしよう！」と、とても不安でした。でも、もう心配はいりません。私には今「仙台っ子ラーメン」という強い味方がいます。というわけで(どういうわけや！)これからも復興に向けて頑張ります。



氏名 山口 大介(ヤマグチ ダイスケ)
派遣元 鹿児島県
所属 仙台土木事務所

4月より都市計画にかかる用地取得業務に従事しています。鹿児島県霧島市(旧隼人町)の出身です。名字が山口なので一人薩長同盟とちらほらと言われたり。地域の方々とお話できる業務ですので、震災時のお話を直接聞き復興はまだまだと痛感させられます。派遣期間は半年間と短いですが、全力で頑張ります。

「ココロプレス」は宮城県の復興を応援するブログです。

宮城の復興状況や生活再建に懸命に取り組む人々の姿、全国から寄せられる力強く温かい応援の様子などを随時発信しています。

おかげさまで1500記事・
100万アクセスを超えました。



ココロプレス 検索

宮城の
復興情報を
募集中です!

復旧復興のPRや支援の取り組みなど、伝えたい情報を、下記メールアドレスまでご連絡ください。
fukuuiup@pref.miyagi.jp

必要事項: 1取材対象/2取材希望日/3取材場所/4御担当者氏名/5電話番号
※内容や日程によってはご希望にそえない場合もございますので、ご了承ください。



2015年7月16日 木曜日掲載

映像で女川を体感するまち歩き (女川町)

http://kokoropress.blogspot.jp/2015/07/blog-post_94.html

女川のかつての姿と復興途上の現在とを見比べることができる映像作品が完成しました。町内5カ所に貼られた「映像で女川を体感するまち歩き」のポスターにスマートフォンをかざすと、過去に撮られた近辺の映像が流れます。女川でしか見ることができない映像です。



2015年7月24日 金曜日掲載

開設から46年。新しい夏を迎えた神割崎キャンプ場 (南三陸町)

<http://kokoropress.blogspot.jp/2015/07/46.html>

神割崎キャンプ場が今年、施設をリニューアルしました。3人の若いスタッフのうち1人は、震災を機に大阪から南三陸町に移住して来ました。皆、「この場所を南三陸にやってくる人たちと、地元の人たちとの交流の場にしたい」と張り切っています。



2015年7月27日 月曜日掲載

森と海と温かな人に囲まれた子どもの学び場「MORIUMIUS」7月18日オープン (石巻市)

<http://kokoropress.blogspot.jp/2015/07/moriumius718.html>

旧桑浜小学校の廃校舎を利用して、子どもの学び場「MORIUMIUS (モリウミアス)」が誕生しました。子どもたちの学びの場として、また地元の人たちの集いの場として、そして日本、世界各地から来る人たちとの交流の場として生まれ変わりました。



2015年8月4日 火曜日掲載

地域の保健室としての役割を担っています (気仙沼市)

http://kokoropress.blogspot.jp/2015/08/blog-post_4.html

津波で多くの方が命を失った気仙沼市階上地区で、NPO法人「生活支援プロジェクトK」が「地域の保健室」として活動しています。保健、福祉などの専門スタッフたちが、日常生活の中の困り事や健康に関する相談などを広く受けつけています。



2015年8月5日 水曜日掲載

子どもにやさしく教える減災絵本「リオン」 (仙台市)

<http://kokoropress.blogspot.jp/2015/08/childrens-book-lion.html>

「いざという時の行動を知っていれば、失われずに済んだ幼い命がもっとあったのではないだろうか…」とNPO法人防災士会みやぎの有志が立ち上がり、1年をかけて制作した幼児向けの減災絵本「リオン」。イベントでの読み聞かせにも活用されています。



2015年8月12日 水曜日掲載

「もう一度、みんな一緒に暮らすまちを！」玉浦西地区まち開き (岩沼市)

http://kokoropress.blogspot.jp/2015/08/blog-post_12.html

「玉浦西地区」は、津波で被災した沿岸部6地区の皆さんが、避難所や仮設住宅での生活を通じてずっと守ってきた地域コミュニティを、ほぼそのまま移植して誕生した新しいまちです。約1000人が暮らすこのまちで、まち開きイベントが盛大に行われました。



東日本大震災復興情報コーナーについて

県では、県内の復興状況を広く発信するため、平成27年9月1日(火)に県庁行政庁舎18階県政広報展示室において、「東日本大震災復興情報コーナー」をオープンします。

県内の被災地の復興状況をパネルや写真、映像等を用いて紹介するとともに、県及び各市町村で作成した記録誌や震災関連図書、パンフレット等の展示や配布を行います。

また、クイズに答えながら防災・減災の知識について学べる「防災クイズコーナー」も設置していますので、お近くにおいでの際は、是非お立ち寄りください。

【ご利用について】

- ①開館時間：午前9時30分～午後4時まで
- ②休館日：土日、祝休日、年末年始（閉庁日）
- ③入場料：無料



☎ 県震災復興推進課 ☎ 022-211-2443

➤ 復興 イベント情報

凡例 日 日時、期間 所 場所、会場 問 問い合わせ

ツール・ド・東北2015(広域)

東日本大震災の復興支援および震災の記憶を未来に残していくことを目的に、宮城県三陸海岸の2市2町(石巻市、女川町、南三陸町、気仙沼市)を舞台として開催するサイクリングイベント。3回目を迎える今回は、食をテーマにした新企画「ツール・ド・東北 応“縁”飯」も実施。コース上の休憩箇所であるエイドステーションや、スタート・ゴール地点の石巻専修大学で展開するフードイベントで、東北の旬の食材を使用したメニューを提供します。
※ライダー参加者募集は平成27年6月で終了。

日 平成27年9月12日(土) 10:00~17:30
13日(日) 5:30~17:30

所 石巻市、女川町、南三陸町、気仙沼市

問 河北新報企画事業部

☎ 022-211-1332

志津川湾タコまつり福興市(南三陸町)

南三陸志津川名産のタコをテーマにした福興市。タコを使ったメニューや飲食ブースが立ち並び、おなじみのタコのキャラクターオクトパス君グッズの販売もあります。ステージではジャズが演奏され、タコとジャズの不思議な時間が流れます。「タコ神輿」も登場の予定です。

日 平成27年9月27日(日) 9:00~14:00(予定)

所 さんさん商店街周辺(予定)

問 福興市実行委員会

☎ 090-7077-2550

復興支援情報

～熱い復興支援に感謝！(東京都)～

首都圏では今でも多くの企業・団体より温かいご支援をいただいています。

先日(平成27年7月29日)も「FC東京VSベガルタ仙台」(味の素スタジアム)において、東京商工会議所のご厚意により宮城物産展を開催、多くのサポーターに県産品をお買い上げいただきました。



おながわ秋刀魚収穫祭(女川町)

全国有数のサンマの水揚げを誇る女川町。その恵みに感謝して、食べる、見る、買う、参加する、美味しい、楽しい、秋刀魚づくしの1日。秋刀魚炭火焼き3000尾(無料)、すり身汁3000食(無料)、各種ステージイベントなどが行われます。

日 平成27年9月20日(日) 9:30~16:00

所 女川魚市場

問 おながわ秋刀魚収穫祭実行委員会
(女川魚市場買受人協同組合)

☎ 0225-53-4455

イベントの日程・内容などは変更される場合がありますので、お出かけ前に、それぞれの問い合わせ先にご確認ください。

みやぎ復興プレス 第40号

【発行日】平成27年9月1日 【発行】宮城県震災復興本部(事務局:震災復興推進課)

電話: 022-211-2408 e-mail: fukusuif2@pref.miyagi.jp

宮城県ホームページ「震災復興推進課」

URI <http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/fukusui/>

「震災・復興」

URI <http://www.pref.miyagi.jp/site/ej-earthquake/>

